

帰国者の裁判を考える会

東京都港区新橋2・8・16新橋石田ビル4階救援連絡センター 気付電話03(35591)1301
郵便振替 0012012398834「帰国者の裁判を考える会」 定価2000円 年12回分 3000円

ザ・パスポート

79



1999年1月31日発行

79号の目次

2 目次・裁判日程	
3 読者の皆様へのお詫び	M島
4 仲間達へ・浴田裁判	浴田
5 読者への手紙・追伸	丸岡
6 ゆうき凛々	ゆきQ
7 マレハバ	HA
8 読者への手紙	丸岡
9 同上	丸岡
10 お詫びと訂正	丸岡
11 インタビュー予告編	M島
12 レバノンの救援会を招請しよう実行委員会(仮称)は現在?	吉村
13 ハリーリの読み違い?	M島
14 高村外相ロンドン・インタビュー	M島
15 同上	M島
16 アルコール・ブレイク	渡辺
17 同上	渡辺
18 私も作れるレバノン料理	吉村
19 レバノン南部の軍事攻防	M島
20 社会人一年生く9>	吉村
21 会員の横顔	KI
22 砂漠の狐は誰を騙したか?	M島
23 皆の初夢集	
24 編集後記	YW

裁判日程・集会・会議 などの御知らせ

2月10日(水) *詳細はP6を。
SAIKAI行動

2月13日(土)
午後7時から日本キリスト教会館
帰国者の裁判を考える会・定例会

会計報告は次号に致します。
ご了承ください。

考える会への御願い

99. 1. 22 丸岡修

会の皆さんにも、いつも色々と有り難う。そして私の口出し済みません。

1. 76号で指摘したことへのご対応がありません。73号でアムネスティ・インターナショナル宛要請文訳文中の「戦犯」という語を会として読者に対する訂正を御願ひします。むろんAIに対しても。岡本同志は「戦犯(WC)」ではなく「戦争捕虜(POW)」として国際赤十字に扱われました。ヒロヒトや岸信介などの戦争犯罪者に対する認識不足が会にあるとは思いませんが。

(申し訳ありません。訂正が遅れていました。これは日本語訳文をワープロ化する際の間違いでした。AI宛て英文にはPOWとなっております。ご心配をお掛けしました。編集部)

2. 77号P.3にあるレバノン政府への要請文に山本万里子同志のことが抜けてしまっています。ルミエ刑務所収監の男4人だけの言及では非常に困ります。このような間違いには十二分に気を付けてください。多分、ワープロ時に脱落したただけだと思うのですが…。頑張ってや。(訂正が遅れておりました。「編集部からのお詫びと訂正」をご参照下さい。申し訳ありません。)

イラク空爆時、使用したボムには 楽書きが書かれていた。多謝



読者の皆様へのお詫び

1) 98年の反省

編集部は、筆者の承諾を得ずに無断で原稿を掲載してしまうということを昨年、続けてやってしまいました。その都度、筆者並び読者の皆さんにお詫びをし、こうした誤りが起こらぬようにしたいという決意を述べてきたにも関わらずです。こうした誤りの根本には「人を利用する」「後で説明すれば分かって貰えるはず」という身勝手な姿勢があったと反省しています。良く筆者の意図や原稿の大切さを考えず、自分たちの思い込みや目的だけで進めてしまうという軽率な人・筆者への対応でした。自分がもし逆の立場でこういうことをやられたら、きっと激怒したはずです。

2) レバノン救援での問題

①ザ・パスポート77号に川村弁護士の意見書（レバノンに囚われている日本赤軍の5名の「国外退去＝強制送還」問題への意見）を事前の承認無しに掲載した。

②川村弁護士の法律解説文（レバノンの主任弁護士サード弁護士宛てへの刑法解説で、岡本さんが死刑になる可能性があることの説明）を無断でチラシ（レバノンの救援会を招請しよう実行委員会への呼び掛けと同封したもの）に転用した。

以上2点は非常に失礼で非常識な対応でした。読者の皆様に深くお詫び申し上げます。また川村弁護士には、これまでいろいろな

形でご協力を頂いております。特に今後焦点化されるであろうレバノンの救援に関し、実際に現地ペイルートの地裁法廷に赴いて頂いたり、法的解説をして頂いたりと頼りっきりでありました。この場を借り、改めて御礼とお詫びを申し上げます。

3) ここを直します。

その上で今後、私たちは以下のことを具体的にやろうと思います。

(A) 掲載・転用をする前に必ず筆者から直接にその承諾を得る。又聞きでなく直接の確認を取る。直接の了承が得られない場合は掲載を見送る。

(B) レバノン救援問題では出来る限り多くの弁護士にご協力をお願いし、複数でのご協力を頂く様、働きかける。

さてレバノン救援問題では、5月にレバノンの救援会を招請しようという計画を進めています。秋口まで「帰国者の裁判を考える会」として実行委員会への結集を呼び掛けておりました。皆様のご理解とご協力で11月21日には、「実行委員会」を作ることが出来ました。現在は5月にレバノン側の救援会の人々が来日された際、限られた時間内でどうやって交流しようか？知恵を出し合っている所です。私たちとしてはレバノン問題だけで手一杯というのが実状で、丸岡・浴田・西川さんの救援に力が及ばないとならぬ様、全力で取り組みます。これからも力と知恵を貸して下さい。宜しくお願いします。(M島)

仲間達へ

‘99. 1. 20

御元気ですか。いよいよ1999年が始まりました。

21世紀に向けて敵も味方も世界中が再編と詰め段階に突入です。EUの通貨統合を私は冷戦構造の終結に次ぐ「真の人類の共生」に向かいする「革命だなあ」と期待しているのですが…どうもこの国は自(利)自(欲)連合の成立とかでトコトン世界の流れに逆行し、民主主義とか共生とかが否定される方向へ再編されようとしているように見えます。

自(利)自(欲)連合の成立の中でなおマスコミは、戦後最大の不況や世界的な経済不振を前面に出して人々の関心を引き付け、国会ではガイドライン関連法案を一つの頂点として司法改革・憲法調査委員会の設置など、この国の土台骨、人民の存在そのものの基軸を云々する大問題が推し進められようとしています。「不況」と言ってもこの国のなかには物が溢れ、パプルの頃のように無駄がやれなくなって「富の一人占め」構造が進行しているということなのではないかと思えます。分配の仕方をちょっと変えれば解決する種類の問題をわざわざそうしないで、人々の不安を募らせ、関心角度を奪って、その隙に「戦争の出来る国づくり」をしっかりと進める。これが自(利)自(欲)連合の狙いだと思っています。「いつか来た道」の様に見えます。ゆめゆめパンの後のささやかなデザートのために自らの存在基盤を失い去ることがあってはならないと思っています。「戦争になったらデザートどころか、パンさえも手に入らないのだから…」。

「人民の21世紀」実現の為に持ち場からの闘いを確実に推し進めましょう。

☆浴田裁判

2月10日、大道寺将司同志への証人尋問が東京拘置所での「所在地尋問」として行われます。

前回報告した「11. 24決定に対する特別抗告」を11月8日、最高裁第3小法廷は、地裁の「(82条は)政治犯罪裁判であっても非公開に出来ないわけではない。確定死刑囚の外部交通権制限は非公開の理由足り得る」という「憲法解釈」の中味を問うことなく、その判断を回避して棄却しました。

弁護団は引き続き弁護士会への提訴を行っていますが、これは法廷への拘束力を持つものではありません。従って2同志の証人尋問は「非公開」で行われることになりました。

その後弁護団は12月24日公判に於いて、東拘における2人の尋問にあたっては「①拘置所内での傍聴の体制は、最低(麻原破防法審理の様に)報道機関の傍聴を可能とすること。またはTV中継によって別室での傍聴を可能とする体制をとること。録画録音によってより正確な公開法廷での再生を可能とすることetc ②被告人は「証人テスト」が出来ないので開廷前に弁護人、被告人と証人の打ち合わせ時間を設定すること ③証人は10余年間に渡る外部交通制限により、人と接することに慣れていないため、尋問にあたっては証人の疲労、体調に格別の配慮を行なって進めること」等を要請しました。この要請に対する裁判所の決定はまだ出されてはませんが、裁判所があくまで公平な公開裁判の原則に立ち、今回の非公開決定が「真にやむを得ない例外である」というものなら、これらの要請に対して誠実にその措置を講ずべきだし、いずれも「不可能」なことではないはずです。

裁判所は非公開の理由を「証人は死刑囚であり外部交通権を制限された者であるから」としていますが、私たちはあくまで証人の身分を根拠に例え死刑囚であっても非公開にすることは「間違い」なのだとすることを追求し続けます。

今回の山室決定の問題は、大きくは2つあると思います。一つは現行死刑囚処遇(法に基

づかない外部交通権の制限)を憲法解釈を変え、実質改憲(憲法破り)の口実にしたこと。すなわち憲法の基本理念に現行死刑囚処遇(一行政庁の都合や内規)を優先させたことであり。第二は憲法解釈の変更の中で敢えて「(政治犯罪であっても)非公開に出来ないわけではない」という仕方で「(この裁判は政治犯罪裁判ではない)」というのではなく「政治犯罪裁判」そのものに焦点を当てる形で82条解釈の「変更」を強行したことにあると思っています。

このことは現在進められている「組織犯罪対策3法案」と一体となる時、「政治犯罪裁判、非公開の判例」は戦中の治安維持法裁判と同質の非公開・密室裁判の濫用に道を開くものとなります。

1月5日の中村法相自身による「憲法批判、弁護士活動批判発言」を見ると、地裁による今回の決定がこの間の一連の司法反動化、裁判の行政支配の流れの中にしっかりと位置づけられた反動化に道を開くタイムリーな決定としてある事が良く分かります。今国会は「憲法調査委員会」の設置と共に「司法制度審議法」の制定を画策しています。「過激派・テロリスト裁判」「死刑囚証人」「4半世紀も昔の事件」etc etc というこの裁判の「性格」を敵は最大限利用して司法反動化、憲法規定された人権の切り縮めに道を開く契機にしようとしているように思えます。敵の反動化に対して最前線で対峙するものとして、この裁判の位置と役割を再認識し、更に気を引き締めて断固踏みとどまる闘い、押し返す闘いを担っていきたいと張り切っています。

裁判は今年、2人の同志の証人尋問からいよいよ「犯罪」と被告人の関係、そして弁護側立証へと進みます。敵の出方に対する反撃と防禦の段階から創造の段階へ益々、創意と工夫が問われます。今まで以上に知恵と力を貸してください。私たちは張り切っています。

今年は世界もこの国もそして私たち自身の身の周りも大きく変動することになると思います。いついかなる状況の変化に対しても常に「目的に向かって仲間達と共に今を変える」闘いを推し進めることだと思っています。そ

のためにもしっかりと準備をしよう！

2月10日、大道寺将司同志と21年5か月ぶりに会います。ドキドキしています。まだ半分信じられません、うれしいです。会えたら報告しますからね。

そして皆に再見！前進を共に！ ゆき子

☆丸岡国賠は1月22日、棄却されました！

詳細は次号でご報告します。

☆「安田弁護士の不等逮捕を考える」集会が1月23日赤坂区民センター3階を超過員に埋め尽くし行われました。同封してある「安田さんへの不当な勾留を解き、すみやかな保釈を求める署名」にどうかご協力を御願います。(編集部)

☆読者への手紙・追伸

99. 1. 22 丸岡修

1. 私の年賀状中であつた“We shall overcome some day (我らいつれ勝つ)！”は、米国内でのベトナム反戦運動華やかし頃に歌われたものです。上記の詞の前に“I do believe”がつきます。「私は確信する」。

2. 78号で「次号に日中首脳会談について書きます」と言っておきながら果たせず。ご容赦。書く時間と体力がありません。

3. いつもご心配頂いている病状について。落ち着いています。心筋虚血の方はもう一生治りませんが致命傷ではないので胸痛とは気長に付き合います。強心剤が一日半錠から一錠になった他は良好。

大寒過ぎた今が最も寒い時。皆さんもカゼなどひかれませぬよう。再見！

(本文の安田弁護士に対する不当弾圧と浴田裁判非公開の不当性を訴える2点は「支援連ニュース」に書いたものです。病中の為、併用。ご容赦。)

ゆきQ

号外
1999年1月23日

無料
カンパよろしく

ゆきQ

(浴田由紀子さんを
救援する会)

東京都荒川区西日暮里
2-39-7 GSハイム404

支援連気付
TEL. 03-3891-7047

(水曜夜)
郵便振替: ゆきQ
00170-9-26827

公判予定

● 2月10日 (水) ● 3月4日 (木)
● 3月17日 (水)
いずれも午前10時より東京拘置所にて

この国ではおそらく前例のない、死刑確定囚への証人尋問が来る2月10日から始まります。

強行される密室裁判(傍聴を認めない東京拘置所での死刑確定囚への証人尋問)に私たちはどう臨むのか?

全国各地の仲間から問い合わせをいただいていたましたが、明快な回答ができず、ご心配をかけました。私たちとしては、最後まで公開裁判を追求していきます。それ故、密室裁判を前提とした行動の提起がなかなかできませんでした。

ゆきQでは1月20日にミーティングをもち、以下のように取り組むことを決めました。ぜひとも多くの仲間たちに参加してもらいたく、以下呼びかけます。

2月10日(水)・午前9時20分小菅駅前集合/9時30分から、東拘に対し、一般傍聴を認めるよう要請行動。(↓以下これが認められない場合)午

前中、面会所前にて、抗議のビラまき情宣活動。
正午、昼休みを利用して、午前中の公判の様子を井藤団から聞く。(東拘は、検察官はいいが、裁判官・弁護人は施設外で昼食をとってくれと言っているそうです。密室裁判をやるなら「万難を排して協

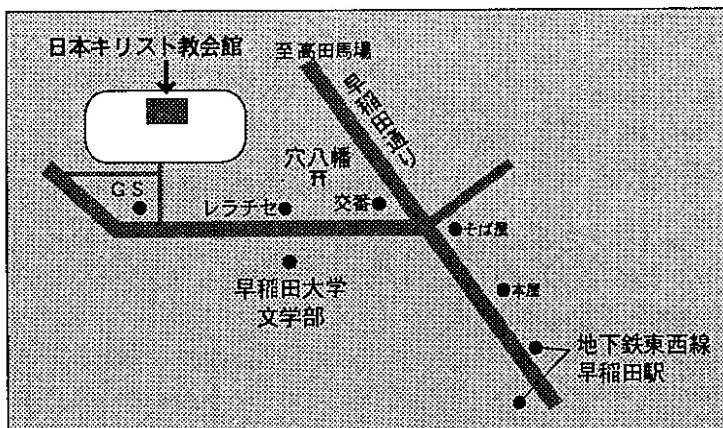
力する」と言っていたんじゃないの? 昼飯くらい用意してやれよ! ついの)

その後、霞ヶ関に向かい、多分午後2時半前後から、地裁前で、しつこく抗議の情宣をやりま

す。夜7時から、日本キリスト教会館(早稲田・下記地図参照)での報告集会を予定しています。

この日は、大道寺将司さんが検察官からの質問に答える予定です。被告の浴田さんとは20年ぶりの再開が果たされます。そして、大道寺さんへの証人尋問は数回に渡り続けられ、その後には益永利明さんの登場です。今からでも遅くない! 死刑確定囚への証人尋問を公開の法廷で行なえ! と私たちは最後まで要求しつづけます。それが認められる日には、私たちもまた、彼らと法廷で再開することができるのです。SAI★KAI作戦はとうとう本番です。ひきつづき多くの仲間たちが注目し、当日の行動に出来る限り参加してくださいよう訴えます。

ゆきQは、やらなければならないことに比して、深刻な財政難、人手不足が続いています。情宣もなかなか思うように展開しきれていません。この号外は転載自由です。メディア関係者で空いてしまった1頁にお悩みのかたはぜひこのままお使いください。



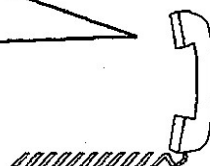
マルハバ (こんにちは) !

レバノン・ベイルートからです。皆さん、御元気ですか？私はレバノン当局の配慮でもう2週間の滞在が出来ることとなりました。これからまた差し入れと面会に出かけます。

あっ！もういなくなっちゃ遅れちゃう！

じゃあ、また後で御電話します。

(1月22日・HA)



1. ご支援ありがとうございます。

1月6日(水)に急遽、我々救援会のメンバーでもあるHAさんのレバノンに入国が許可されました。この件ではこれまで継続的に粘っこく粘っこく、主任弁護人であるサード弁護士、「岡本さんと彼の同志たちの友人の会」

(現地レバノンのJRA 5名を支える救援会)やレバノンの人々が当局との交渉を続けてきました。もちろん獄中の5名もあらゆる機会を使って、いろんな形で当局との交渉を続けていました。

これまでレバノン当局はルミエ中央刑務所で服役中の足立さんの親族であるHAさんの入国を理由無しに拒否し続けてきました。親族には当然の権利として認められている獄中者との交通権さえ保障せずにいたのです。

それが急遽、それも1月8日の高村外務大臣のレバノン入り2日前に入国が認められたのです。弁護士によれば「クリスマスと新年の特別の配慮で」ということなのですが、とにかく本当に良かったです。

2. “怒りの葡萄”作戦も

96年総選挙の前だった！

今、南部レバノンでは連日連夜、イスラエルとの攻防が聞われています。マスコミは「96年のイスラエル総選挙前には“怒りの葡萄”作戦でイスラエルが大規模な軍事攻撃を展開した。今度の5月17日総選挙まであと4か月。また戦争を仕掛けてくるのでは」という危機感に満ちた論調で南部の攻防を報道しています。

3. イラク空爆に抗議して

1000名以上が反米デモ！

From the children of Qana to the children of Baghdad, we are linked by one fate! (カナの子供たちからバグダッドの子供たちへ。私たちは一つの運命で結ばれている!)をスローガンに平和的なデモでイラクへの米英の空爆に抗議した。デモは大学生が中心で、クウェートやサウジなどの国旗を掲げて歩く者もいた。隊列には一人の米国人も居た。Rosalie Metro (ロサーリ・メトロさん)は「レバノンに來たことで初めて米国がいかに野蛮で不公平であるのかが理解出来た」と話し、「一人の米国人もイラク空爆に抗議しているぞ!」と氣勢を上げた。21日にレバノン当局は93年より継続していた“デモ禁止令”を解除している。

(12月26日・デイリー・スター紙より)

4. AUB (ベイルート・アメリカン大学)

前ではハンストで抗議！

12月23日から開始された11名の学生(AUBとレバノン大学の男女)のハンガー・ストライキは、26日になり内2名が病院に担ぎ込まれた。ベイルートは24日から2日間、物凄い雨に見舞われていた。黄色いテントを張り、掲げていたプラカードには3つのスローガン。①米英の空爆によるイラク人民の虐殺に抗議！国連経済制裁を解除しろ！②在ベイルート・米大使を迫放しろ！侵略国の大使館を閉鎖しろ！③シオニストに対して闘った岡本を初めとする政治犯を釈放しろ！の3つ。(12月24日・フューチャー・テレビより)

以上、M島でした。
*尚、27日28日にハンストは中断されています。当局が交渉テーブルにつくと約束したからです。

☆読者への手紙

99年正月 丸岡修



★98年もおおきに、
99年もよろしゅう！

恭賀新年！いよいよ「戦争と革命」の20世紀も残すところ2年。21世紀を「人民の革命の時代」へと発展させましょう！19世紀末は「退廃的気分」と言われましたが、20世紀末は国内外とも暗雲立ち込め、「社会主義に勝利した」とうぬぼれた資本主義世界にとって「一歩先は闇」の状況と言えます。「先行き不安気分」の世紀末。

ところで今、資本主義世界での明かりの灯し方は野蛮極まりなく、「新自由主義」「グローバリズム」の掛け声の陰で弱者切り捨て、帝国主義陣営による世界一元支配が強引に押し進められ、人民の闘いは世界中で困難な闘いを強いられています。

米国の野蛮性、暴力性は、昨年12月16日から19日まで、つまりイスラム暦のラマダン（断食月）が始まるまで行われた米英二国によるイラク空爆に示されています。中国やロシアだけでなくフランスなどの西側同盟諸国でさえ、今回の空爆に疑問をはっきりと表明しました。米国の腰巾着であり、資金源である日本は、恥も外聞もなく即日に爆撃支持

表明を行ない、世界中から失笑を買ひ、米英両国から更になめられました。（ニセの民族主義者—日本の売国派右翼諸君、目を覚ませ。敵は在日朝鮮人民ではなく「鬼畜米英」だ！怒）

イラク空爆は、国連の大量破壊兵器査察を拒否した事が理由とされましたが、国連の安保理事会の承認もなく（非常任理事国で支持表明したのは日本のみ）、米英二国が勝手に軍事制裁を加えた何の正当性もない行為でした。米英の狙いは、イラクの大量兵器破棄には全くなく、イラク人民の利益の側からではなく、米英二国（日本政府はバカだから何の意味も分からなくても米国のやることは何でも支持）の利益の側からフセイン政権を転覆させることにしかありません。アングロサクソンの連中は今世紀末に到っても野蛮なのだ。爆撃の口実を与えるのに精を出す米国の下僕のオーストラリア人バトラーは、国連の査察チーム（UNSCOM）を米国のスパイ機関に変質させています。国連運営の分担金をほとんど払おうとしないくせに、米国は世界一極支配のために、^{国連を}道具として利用しています。

このように、^{国連を}米国を中心とした帝国主義陣営の世界一元支配の下で、パレスチナ人民も困難な闘いを強いられています。アラファト議長がアラブの民族大義も捨てて人民の期待を裏切ってまでイスラエルとの妥協を次から次へと強いられるのは、米国の世界一極支配が故だと言えます。ソ連・東欧が自業自得で自滅し、反帝国主義の国際戦線が分散、個別化された現在は、一国や一民族で戦うのが非常に困難です。好むと好まざるに拘わらず、戦線を縮少し、和平案に応じるか（アイルランド共和軍のように）、地下化して戦う方向に世界の人民の闘いはあります。公然合法化含めて様々な闘い方があって良い。

しかし、どの国、どの民族においても人民に依拠して闘う限り、闘いそのものはその戦術

を転換しても後退することなく、次の反攻を準備しています。人間の自由と解放を実現し得なかったソ連型社会主義の自滅が歴史的必然になったように、人間の価値が金銭的価値にすり替えられ、自国人民には人間疎外、第三世界人民には侵略と経済的隷属しかもたらさない資本主義もまた革命されざるをえません。その時にこそ、民族主義の徹底された姿としての真の社会主義の時代を迎えることになるでしょう。

現在は、人民の革命の時代の過渡期なのです。

日本国内も社会党の解体に象徴されるように保守化が進み、自自連立の政策合意なるものは、軍国主義日本の完成化に更に一步と言えます。新ガイドライン（日米防衛協力指針）による「周辺事態」法の成立を目指している日本は、隣国の朝鮮への敵対を強め、他方では国内の治安維持強化も推し進めています。治安維持至上の中で死刑廃止運動の中心的弁護士まで捏造別件容疑で逮捕されるまでになっています。

日本国憲法の骨抜き化は、第9条がやられて久しいですが、最近では浴田裁判非公開決定にあるように第82条但し書きまで無効化されました。日本の政治・社会・司法の反動化の一つの表れでしかありません。

と先行き暗い話を並べ立てましたが、しかし、日本の支配階級もバブル崩壊の不況の中で青息吐息であり、政治的にも昨年の参院選に見られるように保守勢力の力は万全ではありません。自自連立はその危機の表れでもあるのです。変革を諦めて民主党のようになれば、保守勢力の思うつぼです。こういう時代だからこそ、最後まで諦めず持久的に闘う事が問われています。

未来を確信する者のみが、困難な時代を闘い抜く事ができます。

皆さん、共に持久的に闘い抜きましょう。

We shall overcome some day!

私たちはいつの日にか勝のです。

闘争勝利！再見！

1. 安田好弘弁護士に対する

別件弾圧糾弾！

12.6の安田弁護士被逮捕にはさすがの私も驚きました。国家権力の暴力性、何でも有りを改めて思い知らされました。「強制執行妨害容疑」なるものがこじつけ、デッチアゲであることは明々白々。「付会容疑による別件弾圧」というのが私の見方です。

今回の弾圧事件の真の目的は、麻原弁護団の主任をつぶして同弁護団を「(マスコミに作られた)世論」から孤立させ、裁判所の訴訟指揮に従順になるように仕向けること、そして治安維持の重要な道具である死刑制度の存続のためには死刑廃止運動の中心的人物を排除すること、以上の二つにあると言えるでしょう。また、公安警察の逆恨みによる安田さんへの意趣返しとも言えます。(公安課が刑事捜査二課にやらせた)。

安田さんがかけられた「容疑」なるものは、警察がその気になれば企業の顧問をやっている弁護士なら誰をもこじつけて逮捕することが出来るものです。社長父子の「作られた自供」を誘導するには警察にとっては朝飯前。安田さんが私企業の利益のために違法行為を指南することは絶対に有り得ません。私の87年の被逮捕直後から一審判決までの6年間、安田先生は私の弁護人でした。人となりはよく知っています。デッチアゲ事件です。

安田先生かた年賀状が届きました(代行)。獄中にあっても日常業務をこなすという安田さんの意志の表明と私はとらえています。私の方からは自宅だけでなく、警視庁留置場にも「旧弁護人及び弁護人になろうとする者」として送りました。果たして元日に渡ったかどうか。3年前の私の重病時、意識不明中に弁護団が11人になりましたが、安田さんも復帰してくれました(不思議なことに安田さんへの「弁選届」のみ私は瞬間的に意識が戻り自分で署名指印していました—余談)。

安田先生の無実確信！無罪奪還！

(昨年12月16日の救援集会には500人が参加したそうです。私も応援電報を打ちましたが、主催者にうまく渡らなかったようで、読み上げられませんでした。)

2. 浴田裁判の公開実現！再会実現！

前号で「政治犯裁判の絶対的公開原則」を強調しましたが、これは憲法82条2項但書にははっきり違反していることを示すためです。裁判における「政治犯の特別的地位」を求めてのことでは、もちろんありません。

重要なことは、(政治犯、一般刑事犯の区別なく)すべての被告人にとっての権利である公開裁判を受ける権利が、証人の身分を理由に否定されたことです。証人が死刑確定者か否かで公開原則が左右されてはならず、それは憲法の例外的非公開規定の「公序良俗」の範囲にも入りはしないのです。

「証人の身分が重要ではない」と以前に書いたのは、利明、将司両氏の出廷が重要ではないという意味ではなく、死刑確定者だからと言って公開法廷の証人出廷が妨害されてはならないし、何よりも被告人の公開裁判を受ける権利が無条件で守られるべきだという意味です。

今回の非公開決定でもう一つの大きな問題は、「拘禁の特殊性」なる死刑確定者に対する絶対的隔離処遇を山室決定が当然であるかのようにしたことです。

「特殊性」規定に何の根拠も有りはしない！

—編集部からのお詫びと訂正—

毎回、時間に追われ、やっつけで推敲不足の為に読みにくく、また字が小さく見えにくい等、今年は修正して少しでも読みやすい誌面を目指します。編集体制も徐々に変え、内容吟味や討議、推敲の時間的余裕が増える様、努めていきます。どうぞ長い目で見てください。

◎77号：P. 3左段

レバノン大使館への要望書の中で、「岡本公三氏以下4名の意志を」となっていますが、「・・・以下4名、並びにペイルート刑務所の山本万里子氏の意志を」と山本さんが抜けておりました。なおこの日本語訳文の書き間違いで、レバノン大使館宛て英文原本では「岡本氏と他4名」としてあります。申し訳ありません。

お詫びと訂正

99年1月 丸岡修

原稿の訂正及び誤植の訂正があります。御手元のを訂正お願いします。原稿提出がいつも締め切りぎりぎりなので、原稿の推敲不足、ワープロの誤植、本人自身の誤字脱字と読み苦しく、お詫びします。

●77号

①P. 15右段27行目

取り扱わなければ—取り扱われなければ

②P. 17左段下から16行目

中道左派・保守穏健派—中道右派・保守穏健派

③P. 17右段(2)の10行目

向かうべきでした—向かうことでした

●78号

①P. 11右段4行目

国際テロ—国家テロ

②P. 11右段下から15行目

状況は悲劇的—状況は非観的

③P. 14左段見出し

オジャラ議長—オジャラン議長

④P. 15左段1行目

人々は一犯人が起訴されたこともあって
人々は

⑤P. 15右段(3)の11行目

AID—ODA

AIDは米国の「援助」機関であり、ここはODA(政府開発援助—Official Development Assistance)が正解。尚、円借款の利子は現在、3%ぐらいかと思う(資料なく確かではない)。



“政治改革”を推し進めるホス内閣

「最も弱い人の人権がどう守られているか？が、 その国の人権の基準になるのです」

アムネスティ・インターナショナル日本支部が98年12月1日に開催した
Concert for Freedom (音楽で出会う世界人権宣言)。アムネスティ日本支部の企画
担当者Iさんが「世界人権宣言50周年記念コンサート」への取り組みを熱く語る。

「ザ・パスポート」編集部は、99年新年特大号掲載の為のインタビューを1月18日、東京・西早稲田のアムネスティ・インターナショナル日本支部東京事務所に、御忙しい時間を調整して頂いたIさんを訪ね行きました。以前、「死刑廃止運動」に関連してインタビューをさせて頂いたIさんは、はつらつと世界人権宣言50周年記念コンサートの意図・苦労談・成果などを語ってくれました。本当に御忙しいところ、貴重な御時間をありがとうございました。現在、テープ起こしを進めております。読者の皆さんには、来月号で御紹介出来ると思います。

1. 世界人権宣言とは？

「人権」という言葉がマスコミ報道でもよく聞かれます。国連総会採択50周年を迎えた昨年98年に、その全文をじっくりと眺めた方は少ないだろうと思います。

—知恵蔵98年度版P99より—

(前略) 第二次世界大戦中の著しい人権侵害に対する反省と、自由実現を戦争目的に掲げた連合国側勝利の結果、戦後の国際社会の組織化を意図した国際連合の目的、任務の中にも基本的人権の尊重が定められた。(中略) 宣言の内容は、

<1>自由権的諸権利(1-20条)

<2>参政権(21条)

<3>社会権的諸権利(22-27条)

に分類出来る。この宣言はその後作られた各国憲法や地域人権条約にも多くの影響を与え、日本も51年の対日平和条約前文でこの宣言の目的実現のため努力する意志を宣言した。(後略)

2. アムネスティ・インターナショナルとは？

世界的に非常に名を知られた民間団体です。私たちが丸岡さんなどが国際事務局並びに日本支部の方々に大変お世話になっています。レバノン問題では国際事務局から「岡本さんの身柄引き渡し問題」に関し、状況をウォッチし続けており、「身柄引き渡しが決定的なならば、公式アペールを行なう」との確認を頂いております。

—知恵蔵98年度版P104より—

言論や思想、皮膚の色などを理由として不当に捕らわれた非暴力の人々(良心の囚人)の釈放を目指し、政治犯の公正な裁判、拷問や死刑の廃止を求めている国際民間団体。日本では「人権を守る国際救援機構」とも説明される。1961年、英国の弁護士ペーター・ベネンソンにより設立され、新聞への投書「忘れられた囚人たち」をきっかけに、良心の囚人、家族、関係当局に手紙を送る方法により、救援活動を進めている。国際事務局はロンドンにあり、世界150余カ国に100万人以上の会員を持つ。中心は6000余のグループが単位となっている。77年にノーベル平和賞、78年に国連人権賞受賞。

3. インタビューでは？

いろいろ勉強させて頂きました。特に今回の記念コンサートの企画段階での苦労談は今後、私たちが救援活動を進めていく上で参考とすべき大切なことが詰まっていました。次号できっと皆さんにその熱い思いが届くものと確信しています。どうぞお楽しみに！(M島)

「パノの救援会を招請しよう実行委員会（仮称）」は、現在？

」にやる理由は、ただ一つ。不正をただして、自分の国を作る、このため。

・78号で報告しましたカナ虐殺（96年4月）のビデオ上映会には、23名の方が参加して下さいました。うち、「帰国者の会」関連でない方は15名。ちなみに、女性参加者は、5名です。集まったカバは、総額1万4千円でした。紙面を借りて、御礼申し上げます。

・12月18日、実行委員会事務局を立ち上げ、事務局員7名が決まりました。これは、日本赤軍の思想・実践とは別個に、各自の独自の考え、関わりを前提にしたもので、「帰国者の会」は、実行委員会の一部となりました。

・1月9日、第二回事務局会議。1月30日の実行委員会に提案する基調案を討議し、事務局内の会計、書記など役割分担を決めました。皆で智慧を出し合って、ああでもない、こうでもないやっています。また、実行委員会の名称を「ウディム」（パノと日本の連帯、もしくは平和、又は救援の輪を広げる会）とする事務局提案を決めました。

・「ウディム」って、なあに！？

これは、パノの詩人ジヤド・トフィー（だったと記憶するのですが...）の詩「ウディム」に、パノの人がメロディをつけたもの。その意味は、つまり、「団結しようぜ」。固いのがお嫌いの方は、「一緒にやろう」位に考えて下さい。パノ、パノ左翼の会合で歌が出るとなると、定番の一つでした。パノの人々にとっては、イスラエル領になった部分と被占領、被占領地でもガザとヨルダン側西岸、そして、アラブ各国に難民として散っていった同胞という具合に、地理的にも話されていますから、どうやって一つになって闘うかがポイントのようです。さらに、社会的にも、金持ちのパノ人、貧乏なパノ人が一緒にやるのが問われましたし、世代を次いで、老若男女が一緒にやっていくこと、前世代がやり残した事を若い世代に引き継いでいく事も、やはり課題でしょう。そして、アラブ人民全体に対して、多分、民主的な人々全体に対しても、その中には、イスラエルの民主的、進歩的な人もきっと含まれているかもしれませんが、とにかく、回りの人々にも「団結しようじゃないか」「一緒にやろうじゃないか」と呼びかけられています。あれこれの違いや、不一致を言い出したらきりがなく、一緒にやれない理由なら、地中海の砂の数ほどにもなるでしょう。しかし、一緒

アラブ・パノとの連帯運動は、70年代からみても、多くの形があり、多くの方々が参加してきました。私達は、その30年近い歴史の流れの1部にいます。パノの人々、パノの人々からみたら、私達は、「手をさしのべてきた日本の人々」の一人一人なのですから、今、改めて、「ウディム！（一緒にやろうや）」。あれがなかった、これがまずかったとまず自分が反省して、「ウディム！」。難しく考えて、めげてしまう前に、何回かの現地面会で御世話になったパノの救援会の人々に御礼がしたい、相互にもっと顔の見える救援をやりたいという初心にかえて、「ウディム！」友遠方より来る、また楽しからずやの精神で、迎えたいです。

・私達事務局は、実行委員会の手足となって、準備の実務を進めていく訳ですが、やっぱり心一つにして、よく議論して決め、決めたら誠意をもって実行するというふうにやりたいです。皆様の誠意を一つに繋げて、パノの人々と、これからが一緒にやっていけるように。

そして、遠くのパノの人々との交流を考える時、身近なアラブの人々へも思いを馳せざるをえません。また、日本の高村外務大臣がつい先日イギリス、アラブ諸国を訪問して、中東和平への積極的な取り組みを打ち出していますが、アラブ、パノ、パノ人民の要求を反映したものになるよう、監視していかなければならないと思います。それに、私達の側は、政府とは位相の違う連帯の一步を、この招請の中で作って行きたいものです。難しい事が山積みしてはいますが、千里の道も一歩からです。

・1月17日現在の「パノの救援会を招請しよう実行委員会（仮称）」へのメンバー。
賛同人になって下さる方=7人。氏名公表は控えたいという方=2名。集まったカバ総額は1万6千円。有り難うございました。

1. ハリーリの読み違え?

「公務に在籍していた者は一定期間を経なければ大統領の職に就けない」という憲法を曲げ実現したエミール・ラファード新大統領就任以来、ハリーリ前首相との対立が生じ、国家議長であるナビィハ・ベリが仲介に入り調整が続けられていた。当初、新大統領もハリーリの留任で人事を進めると思われていた。前大統領ハラウィ時代に世界に希な「首相のサボタージュ」や何度も「退任する」とポーズを見せながら国政を操り、レバノン復興の利権を一手に独占してきたハリーリの時代は意外にあっけなく終わった。レバノンの政治に大きな影響を与えているシリアは今回、一連の調整では一切、前面に出てそのヘゲモニーを示そうとしなかった。なぜか?

タイフ合意による内戦終結から今日までのテーマであったレバノンの復興を強力に押し進めることはシリアにとっても大きな意味があり、その為には強力な「推進力を持った首相」は不可欠であった。サウジの資本が期待出来る事などもあり、経済的にはハリーリの後押しを進め、軍事的にはレバノンの国軍整備を宗派政治の枠を取り払うことから始め、35000とも言われるシリア軍を常時駐留させてきた。今回のラファード大統領就任で、こうしたシリアのレバノン政策は転換した。3年前、ハラウィ大統領の任期切れ時には大統領任期を特別に変更させてまで、ハラウィ／ハリーリ体制維持に動いたシリアだったが、今回は完全にラファードのバックアップに徹し、「力の政策から法治国家へ」の転換をはっきりと示した。今後更にシリアはレバノンの内政に顔を出すことを控えながら、ポストと平和への枠組み整備を進めるだろう。

ホス新首相は人事的にも制度的にもワイロ排除を厳格に求め、ハリーリの復興中心政策の全面的見直しによる緊縮財政、新内閣にレバノン南部出身を4名も入閣させた。その他、20つの政策ポイントが挙げられている。タイフ合意事項推進とシリアとの兄弟条約尊重、国連決議425を求める民族解放闘争への支持、選挙区見直し、地方自治推進、必要物資と義務教育の保障等である。(1. 17 M島)

2. “救国と変革”の新内閣発足

98年11月27日に新首相ホスは16名の新閣僚を任命した。前首相ハリーリの時代は30の閣僚ポストがあったが、ギョツと“スリムにし、緊縮財政への第一歩”を表した。この内閣が2000年に予定されている国会選挙までレバノンの政治を牽引することになる。“派閥・宗派政治の排除”を公約の一つに掲げ、「クリーンでガラス張りの政治が期待出来る」とレバノンの人々の評判は上々のようだ。

○Salim Hoss サリム・ホス (スンニ派)

首相・外務・移民

○Michel Murr ミッシェル・ムール (ギリシア正教) 副首相・内務・地方自治

○Mohammed Youssef Beydoun モハメッド・ユセフ・ベイドゥーム (シア派) 教育・若者指導&スポーツ・

○Suleiman Franjeh スレイマン・フアンジーエ (マロン派) 農業・住宅&協同組合

○Anwar Khalil アンワール・ハリール (ドゥルーズ派) 情報・難民

○Ghazi Zeaiter ガジィ・ゼイタール (シア派) 防衛

○Michel Musa ミッシェル・ムーサ (ギリシア・カトリック) 労働・社会

○Issam Naaman イッサム・ナアマン (ドゥルーズ派) 郵政&電信電話

○Joseph Shaoul ジョセフ・シャウエル (マロン派) 法務

○Suleiman Trabulsi スレイマン・トラブロシ (カトリック) 石油・電気&水源

○Hassan Shalaq ハッサン・シャラク (スンニ派) 政治改革担当國務

○George Corm ジョージ・コーム (マロン派) 財務

○Karam Karam カラム・カラム (ギリシア正教) 厚生

○Nasser Saidi ナッセル・サアイディ (シア派) 経済&貿易・工業

○Artur Nazarian アルタル・ナザリアン (アルメニア正教) 観光・環境

○Najib Mikati ナジィブ・ミカティ (スンニ派) 公共事業・交通

「日本はパレスチナからもイスラエルからも怨まれる要素を持っていない。だから関係各国と友好関係を持てるのだ」

高村外相の1月5日ロンドンでのインタビュー発言から

1. アサド大統領統投

今年5月、中東は2つの大きな山場を迎える。4日オスロ暫定和平合意の期限でパレスチナ側は一方的な独立国家宣言をも辞さない姿勢であり、17日イスラエル総選挙に向けて与党リクード内でも和平への対応やレバノン南部からの軍撤退問題などで混迷を深めるイスラエル。二か国間和平が進行する中、マドリード和平会議から一貫して、包括和平とゴラン返還という原則的立場を貫くシリア。1月14日、シリア特別国会委員会はアサド大統領（69歳）の5度目の任期（現在の任期は3月12日まで）を全会一致で採択した。2月7日の国民投票でも圧倒的支持があるものと考えられている。すでに1月第二週には、パース党初め7党で形成する国民進歩戦線はアサド選出を決定している。

2. クリントンの4度目の中東訪問

米上院での弾劾裁判の開始か否かで揺れる中、ワイ合意の履行を求めるためという看板で行われた今回のクリントンの中東訪問は、アラブ紙に「米史上、最もイスラエル寄りであるとイスラエル側には確信させ、同様に最もパレスチナ寄りであるとパレスチナ側には思わせる」という素晴らしい政治的手品をやったのけた大統領である（arabia.com）とそのダブル・スタンダードぶりを皮肉られて受け留められたようだ。イスラエルへの手土産は12月13日に発表された10億2000万\$の「和平の危険手当」とも呼ぶべき援助だった。しかし中東外交で得点をゲットしようという思惑は外れ、イスラエルからは「保安と土地の交換」であるワイ合意遂行の約束さえ取り付けることが出来なかった。イスラエル側の合意事項非遵守は全てパレスチナ側の責任で生じた結果であると国際世論を丸め込ん

た。

一方でクリントンはガザを訪問した最初の大統領となった。専用ヘリコプターでガザ国際空港に降り立ったこの訪問はパレスチナ側にとって国家独立の象徴と捉え宣伝することも出来る。街のパレスチナ人たちは一様に醒めており静かで、CIAやシークレット・サービスが警戒態勢を敷き緊張しているのとは対照的だったようだ。「ランド・フォー・セキュリティ」へすっかり変質してしまった「和平」を象徴している。

3. 高村外相の中東訪問

1月5日、翌日からの中東入りを控え、ロンドンに立ち寄った高村はロイター通信のインタビューに応え、「日本はパレスチナからもイスラエルからも怨まれる要素を持っていない。従って関係各国と友好関係を持てるのだ」と、昨年12月17日に国連を無視して実行された米英両軍の「砂漠の狐」作戦への支持表明をアラブ各国がどう受け留めたかに全く配慮しない厚顔無恥ぶりを示した。更に続け「すでに日本はパレスチナに4億\$を援助してきたが、更に2年間で2億\$を援助する。日本以外では米国とEUしかこうした貢献は出来ないよね」と金にものを言わせる強引な外交展開を行なうことを宣言した。今後、米国のダブル・スタンダードに多くを学びながら、米国の中東政策を補完する役割を増していくことになるだろう。従来と比較しアラブへの擦り寄り（米国の中東政策と矛盾しない許容範囲内）を明確に示すなど非常に巧妙になっています。アラブ紙デイリー・スターはこの特徴を「この地域に対し、日本はこれまでもソフト・ローンの主要な提供者であったが、和平の進行と経済援助をリンクさせ結び付けたことは興味に値する。EU諸国がその歴史

的つながりから利権を確保しようと、米国の
和平政策とぶつかることもあったが、現在のワ
イ合意に取って代わるという野望を持たない
第三国の登場は何らかの成果をもたらすかも
知れない」と、原油の安定確保や経済利権の
獲得という緩付きでない新しいイニシアチブ
の発揮を日本に期待した報道になっています。
金だけをちらつかせながらの外交からの脱皮
の一步として、具体的な提案を携えての中東
訪問として注視する必要があります。

4. 日本赤軍メンバー引き渡し問題

1月8日レバノン入りした高村は、ラアフォ
ード／ホスらと会談。その中で日本赤軍メン
バーの引き渡し問題に触れた。レバノン側は
「これは司法の問題であり、政府の問題でな
い」と前政府のとった立場を繰り返した。こ
の問題との関連で、同行している岡田スポ
ークスマンは95年にレバノンとの間で約束さ
れた1.1億\$のソフト・ローンによる復興
プロジェクト援助が遅れるか否かについて「レ
バノン側が用意出来ているのならば援助は届
くだろう。日本が経済協力を強化するか否か
の結論を出すにはまだ早すぎる」と巧妙さを見
せた。また同時に南部レバノン（イスラエル
による被占領地）からのイスラエル軍無条
件即時撤退を求めた国連決議425にも言及
し、「シリア・イスラエルなどに我々の和平案
を持ってきた」と明言し、従来のような経済
援助だけでなく、政治にも踏み込んで関与し
ていく姿勢の一端を示した。

8日夕方ダマスカスで行われた記者会見で岡
田は「シリア・レバノントラックは不可分で
ある」という立場を示した。シリアにはすで
に7.66億\$（発電施設向け）を援助して
いる。ヨルダンには6000万\$の観光振興
向けに、「和平へのアラブ諸国の責務への報奨
金」として貸与した。昨年、ヨルダン川とパ
レスチナを跨ぐ橋の建設への援助として82
00万\$を約束している。アンマンで岡田は
「最も大切なことはイスラエルに対し、過去
に一致した合意を最大限、真摯に実行する様
強く求めることであり、それが今回の我々の
中東訪問目的の第一である」と語り、昨年末

の米クリントンの訪問をなぞるように強調し
た。パレスチナ・ガザの後、最後の訪問国と
なったイスラエルでは、シャロン外相にして
「感銘を受けた」と言わせる程、イスラエル
の南部レバノンからの撤退提案を含む4点を
アッピールした。（この間、シャロン外相は南
部レバノンからのイスラエル軍の一方的撤退
を提案しネタンヤフ政権に拒否されている）

今回の中東訪問の締め括りとして1月11日
に公表された提案の内容は、以下です。この
4点を携えながら各国への経済援助が約束さ
れていった訳です。この提案に対する各国の

—日本の4提案—

- ① イスラエル軍の撤退は国連安保理決
議425の規定に沿い実行されるべき。
- ② 撤退は包括和平を導くものであるべき。
- ③ 撤退は遅らせるべきでなく、関係国
は前提条件無しに撤退に向けた具体的
ステップを討議すべき。
- ④ 国際社会はイスラエル軍撤退後の南
部レバノンを安定させるため、協力
すべき。

具体的な反応は報道からは不確かですが、レ
バノン・ホス首相は①②点目は異存ないが、
③点目に反対だとも言います。これを説明す
るかのうちに、ペイルートのある西側外交筋
は「シリア・レバノン・イスラエルからはこ
の提案に大方で好感触な声が聞こえているが、
日本は難しいマーケティングを抱えることにな
るだろう」と言い、「この提案はイスラエル
提案に近いものだ。『具体的なステップ』とい
う言葉はイスラエル側で即、「保安整備」と翻
訳され、だからこの点でシリア・レバノン側
には受け入れられないものとなるのだ」と提
案が何ら事態の進展を促す内容を持っていな
いものであると論評した。

日本は本当にパレスチナからもイスラ
エルからも怨まれているのか？
実際に招請して聞いてみよう！

(1.17 M島)

アダルト・ブレイク

元「赤軍—PFLP世界戦争宣言」

上映隊・渡辺 亜人

「AV」という言葉があるだろ。オーディオ・アンド・ビジュアル かアダルト・ビデオの両方の略称で使われていることが多いようだけど。

まァ、アダルト・ビデオの意味で使われている方が多いか！

いづれにせよオレにとって「AV」とは夜毎通うレンタルビデオ店で借りるアダルト・ビデオのことだね。

30年くらい前はまだアダルト・ビデオなんて言葉はなくて、もちろんレンタルビデオもなくて、だいいちビデオなんてTV局でしか使わない業務用だけだった。

その頃おねーちゃんとおにーちゃんがからんでエッチをやるのはピンク映画とよばれてた。

ピンク映画……いい響きだネ。柔らかく味わいがある言葉だ。

東宝や東映、松竹なんかの大手映画会社と違ってそのピンク映画を専門に作っていた小さな映画会社やプロダクションがいくつかあった。

金がなく少ない予算で作らなければならないから、パート・カラーっていうので作られてたのが多かった。パート・カ

ラーっていうのはエッチのシーンのところだけカラーフィルムを使い、他の関係ないシーンは白黒なんだ。白黒の方がフィルム代や現像代が安いからネ。

ふたりがラブホテルに入り部屋のドアを開けると、急に画面がカラーに変わる、てなもんだった。映画館で見ていて、おお！いいいよ おっぱじまるぞ！と興奮したもんだ。

ふたつ、みつつ先の椅子で今まで居眠りしてたような奴も目こすってスクリーン見ている。館内がなんとなく静かになって、ゴクリって生唾飲み込む音まで聞こえる感じがしたヨ。

なかには暗い中で、ズボンに手を入れてこすってるように見える奴もいた。オレもここでこすれたら最高だろうナァと思って、人に見つかるのも恥ずかしいからわざわざゆったりしたコートを買って一度だけやってみた。

気持ちよかったかって？う〜ン。何となく人に見られているようで緊張して落ち着かなかったナァ。

そんなお世話になったピンク映画だけど、ヘア・ヌードや裏ビデオまで氾濫している今からみればタワイのないもんで、今なら中学生も見向きもしないかもしれないナ。

そのピンク映画作ってた監督の中に若松孝二がいた。オレがはじめて若松孝二って名前を知ったのは、たしか'66年のベルリン映画祭だったとおもうけど、「壁の中の秘め事」というのが上映され、たぶんピンク映画は低俗なんだと思っているアホな映画評論家が「こんな映画は国

辱だ」というような事を言って新聞記事になったり、昼のワイド・ショーで話題になったりした時だったと思うんだ。

この頃から若松プロにはいろんな人達が参加して、今ペイルートの刑務所でお勤めしている足立正生もいくつかの監督作品や、ほとんどの若松プロの映画のシナリオを書いている。

和光も'71年頃からだったと思うけど助監督として働きはじめてたはずだヨ。

その若松プロが'71年秋に作ったのが「赤軍 - P F L P 世界戦争宣言」。「プロパガンダの最良の形態は武装闘争である。」

「世界赤軍構築のためのニュースフィルムである」というチョー過激なメッセージの映画。

で、それを上映するために上映隊ってのを作って全国を上映してまわったヨ。

当時まだバリスト中の大学とか、いろんなところの市民会館とかサ。最初の頃はマイクロ・バスで回ってた。真っ赤に塗ったバスで。北は北海道から南は沖縄までいった。赤色宣伝工作隊ってイメージかな。ピンクから赤くなったってわけ！

そう言えば、昔ピンクのヘルメットをかぶってた「中ピ連」とかいう、おっかないおねーちゃん達のグループがあったっけ！

'72年5・30のリッダ闘争があってからあとの3ヶ月はすごいスケジュールだった、公安とおっかけっこしながら全国を飛び回っていたような気がするヨ。

その上映の合間をぬって若松プロが作ったのが「天使の恍惚」という映画。ブランキの四季協会をもじったような組織があって、米軍基地(?)から奪取した爆薬をめぐって組織内の内ゲバみたいなのがあって、最後はやたら爆弾が破裂する映画だったかな。

この映画にはオレも出てるし、和光も足立さんも布川徹朗も出てる。和光は基地を襲撃するゲリラ兵士の役。これがなかなかカッコイイんだ。鉄砲片手に匍匐

前進、建物の影に身を潜めるしぐさなんか堂にいったもので、やっぱりあいつはそういう素質があったのかな。

布川はオレや足立さんなんかと一緒に爆薬を奪ったグループを襲う時に、相手のグループのおんなを犯す役だった。尻まるだしでおんなの上に乗っかっていくんだけど、その腰の動かしがたがやけにリアルだったのをおぼえてるヨ。

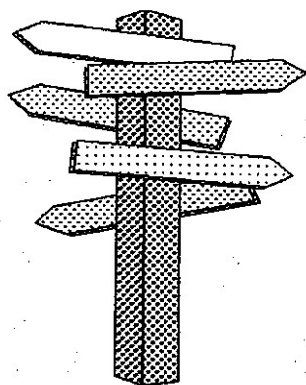
足立さんはオレと一緒に相手を襲い殴り倒す役で、グローブみたいな手を振り回してた。「足立ゴリラ」ってあだ名があったが、そのとうりだとおもった。

せっかく若松プロの映画に出れるんだから、チョットでもいいからきれいなおねーさんの肌にあふれたかったんだけど、若松監督に「お前はダメだ」と言われちゃった。

この後もう一本出たんだけどサ。題名をちょっと忘れたけど、ストーリーは二人の男がハイジャックをやろうとする話。

その資金稼ぎのために、一人は道路工事の土方で、もう一人は女子高生をオヤジに紹介したり、そのからみで美人局をやったりしてた。オレは、その土方をしている方。最後は羽田空港で、刑事に追い掛け回され捕まる役だった。もう一人の方は、当然のことながら、おねーさんとからみのシーンがあるんだけど、オレはやっぱりおんなつけ無しの役だった。

やっぱストイックに生きるしかないのかな・・・・・・？！！



私も作れるバノ料理 — 吉村

新コラム。執筆最適任者は何と言っても丸岡氏で、「前世はきっとアヲ人だったに違いない」とアヲの友人達に言わしめたほど造詣が深い。料理の分野でも、丸岡氏が極上の讃岐うどんを打つだけではない腕前なのは、本邦初公開。が、やんぬるかな、彼は上告審準備で多忙のため、不肖、私が勤めさせて頂きます。

1、何をもちて、バノ料理とするか？

味についても、独断と偏見に満ちた私の気に入ったものです。ただ、バノ料理の1翼にあることだけは、まあ、大丈夫でしょう。

バノ料理といっても、海岸地方とベカー等の高地地方では違い、海岸でも南と北では違いがあり、遠くはフェニキア時代から、東西南北の通商、軍事要衝であったバノですから、その料理は当然文化の坩堝の華。一口にこれだとまとめるのは、乱暴すぎる。そう、東北の味と、九州の味が違うようなものです。同じ東北でも、裏日本と表日本とでは、また、違いがあるように。

後日、バノの誰が読んでも、納得できるように、「私が気に入ったバノ料理」としておきたいのです。ともかく、私、味覚、嗜好におけるナヨナヨです。自分が慣れ親しんだ食品、味について、とやかく言われるとむっとしますし、「代表的でない」などと言われようものなら、血の雨がふりそうなお国柄です。味覚グローバル・シェン・ションは極めて困難であるというのが、私の信念です。

ということで、枕詞は終わりました。これから、私の気に入ったバノ料理だけ紹介します。確かに、一般的には「代表的」とされる料理はありますが、嗜好、味覚は千差万別で良いじゃないですか。

2、どういうバノ料理？

私が、予定外の帰国して以来、実験を重ね、その「科学的」結果のデータに基づくものだけです。

日本で手に入る食材を使って、私の好きなバノ料理を幾つか実験してきました。この客観的な実験結果に基づいて、「科学的」にやって行きたいと思います。もちろん、実験結果には、食べた人の反応も含まれる訳です。最初に作りたかった「タプーレ」というサグは、バノを1キロ位、ベノもたっぷり、トトもかなり使うのですが、何せバノが余りにも高価なため、実験ができていません。

(本年2月中旬予定の市民農園抽選に当選した晩には、2畝くらいバノを植え、この幻の「タプーレ」を作って、食べた人の感想を聞いてみます)

3、では、始めます。

イ、まず、好評だったのは、ヨーグルト団子とでもも

うしましょうか、まあ、フレッシュ・チーズ風味と云えるかも知れませんが、残念ながら、名前は忘れました。バノに行った当時、よく、食料品店の棚に、白い丸い玉が、団体で、瓶の中のオリーブ・オイルに浮かんでいるのを見かけたものでした。なかなか、かわいい姿。

材料： バノ (プレーン・ヨーグルト) 2キロ

塩少々

オリーブ・オイル

ガラスの広口瓶

制作所要日数：2-3日

食べ頃：2週間後位から。日持ちします。

作り方：①ボールに、ヨーグルトをあけ、塩少々を加えて、よくまぜます。

②ガーゼか薄手のハンカチをざるに敷いて、ボールの中のヨーグルトを移し、2晩ほど(水気がどれだけ切れたかでやること)、水切り。こうして水気をとったヨーグルトをバノと称します。(この状態のまま、オリーブ・オイルをかけて、バノにつけて食すると、フレッシュ・チーズ風味で、うまい。)

③水分が抜けて、すこし固まりかけてきたら、直径3CM-4CM位の団子状に丸めます。この時、オリーブ・オイルを掌全体につけて丸めると、掌にヨーグルトが付きません。

瓶にオリーブ・オイルを入れておいて、丸めたバノ団子を入れて行きます。(第1回実験では、水切りを1日だけにしたのですが、ボールが柔らかすぎて、潰れ、見苦しい有り様になりました。味は、一応、それらしかったのですが。ですから、2晩、もしくはそれ以上の水切りを勧めます。夏場は、涼しい所で、水切りして下さい。)

④こうしてできたバノ団子をオリーブ・オイルにつける事2週間。バノの風味が移って、しかも若干の発酵もして、なかなかまろやかなフレッシュ・チーズ風になります。団子の一部でも空気に触れてしまうと、そこに黴が生えるので、ご注意。でも、黴をそっと取り除けば、食べられます。(バノの黴と日本の黴は違うかも知れませんが、黴に過敏な方は、止めておいて下さい。)

* 次は、バリエーション。ヨーグルトの水切りの段階で、塩の他に、乾燥ミソの葉を砕いたもの、ゴマなどを加えて、ミソ風味、ゴマ風味のバノ団子ができます。これまた、何ともこたえられない味になります。

⑤食べ方

スプーンでこのバノ団子を(勿論、オリーブ・オイルも少し)小皿に移し、潰します。トースト、クッキーにそれをのせて、頂きます。朝食のみならず、ビールやウイスキーのつまみにも、胃に優しいですよ。

レバノン南部（被占領地）の軍事攻防 ーレバノンのレジスタンスの

98年年度レポートよりー

1. 特徴：98年年度レポートでは軍事攻防の特徴として以下を挙げている。

① レバノン側の軍事攻撃の質が向上し、数が増大。

② イスラエル側の攻撃は“レッド・ライン”（96年4月停戦合意で定めた）を大きく踏み越え、民家・住民に攻撃対象としている。

2. レジスタンス

① 98年は1519回の攻撃を実行。（97年は850回なので669回の増大）

② 26名のイスラエル兵を死亡させ、144名にケガを負わせた（97年は45名死亡、100名ケガ）

3. 被害

98年の民間の被害は、21名死亡、100名ケガをし、340戸の家屋が破壊された。

イスラエルの軍事攻撃（空爆・艦砲射撃・地上戦など）は98年1700回に上った。

1. 米国がテロリズムとレジスタンスを 区別した？！

12月3日、レバノン南部の港町ティールを訪れた（彼の要望で南部のカナー96年4月の虐殺現場となった村落ーを訪問途中に）在レバノン・米国大使デイビット・シャターフィールドは、レバノン主権の尊重し、包括和平がもたらされることを望むと一般的な外交辞令として米国のレバノン支援の立場を述べた後、「米国はテロリズムとレジスタンスを区別している。南部レバノンでのレジスタンスはテロリズムだとは考えていない」と表明。

（アラビックニュースより）

ダブル・スタンダードの真骨頂だが、カナの虐殺の現場を実際に見て心が洗われたことから出た発言だと思いたいのは私だけだろうか。

（M島）

2. “エルサレム・デー”

レバノン郊外で1月15日、神の党を中心にエルサレムの日の集会が行われた。集会でナスラッラー（神の党の指導者）は5月17日に繰り上げられた総選挙一色のイスラエルに触れ「選挙で争っているのはテロリスト、

殺人者、残忍な民族主義者であり、もしネンヤフが失脚すれば状況が好転すると考える人々は幻想に生きているだけだ。イスラムの抵抗はイスラエルの選挙とは全く関係ない。占領された土地を解放することがレジスタンスの目的である」と発言。イスラエル国内で南部レバノンからの軍撤退も選挙の争点の一つになっており、宗教政党・民族右翼政党との連立内閣を辛うじて維持してきたネタンヤフ政権内部あるいはリクード党内部でさえ、この問題を巡って対立が顕在化し、混迷を深めるイスラエル内政であるが、国連決議425に沿ったレジスタンスを闘い続けることを確認。「占領者にどんな正義があるのか？」と問い掛けた。

これは同じシーア派のトフェイリ派（パアルベックを拠点とする元神の党総書記シェイク・トフェイリを中心とする組織。ハンガー・レボリューションをハリールの失政に対して起こし、拘束されたメンバーが97年4月にルミエ刑務所の暴動を先導したとも言われている）が「神の党はパレスチナの地にイスラエルの存在を承認するつもりだ」と神の党を批判したことに応えた内容になっている。

エルサレム・デーとは？

67年イスラエルにより東エルサレムが占領されたことに抗議する日。イランのホメイニが81年に創設し、ラマダンの終了する前の最後の金曜日に行われる。

“エルサレムは我々に！”をスローガンにしている。Al-Quds Day（アラビア語）

ー米国のイラク解放法ー

98年10月に成立した法律でフセイン政権打倒に向け、反政府勢力に合計9700万\$の軍事支援を行なうと規定。軍事支援の対象となるイラク反政府組織は、イラク国民会議（INC）・クルド民主党（KDP）・クルド愛国同盟（PUK）など7つが指定されている。米国はこれら組織の統一戦線を目指すとしている。残り4組織は不明であるが、イラクの王政復興を目指す勢力も含まれるという。

（しんぶん赤旗1月17日付より）

社会人1年生<9>
-初めてのハローワーク(1)

1999年1月21日(木)

吉村和江

あけましておめでとうございます。どうおめでたいのかという事はさておきまして。昨年中は、本当に御世話になりました。本年もよろしく御願ひ致します。

21世紀まで、あと11カ月。個人的には、まだ定職が見つからぬ上に、失業保険も2月末位からやっと第1回支給があるという状態で、「青い息の時代」です。でも、新しい世紀がすぐ目の前に来ていると思うと、心弾みます。

いつまで社会人1年生なのか、本人も心もとなひ時もありますが、まだまだ日本社会への溶け込みが薄いなあと感じていますので、当面、このテーマで続けさせて下さいね。

初めてハローワークへ行ったのは、退職してから2週間後。会社からの退職票、離職票の届くのが遅れたせいです。

自宅から電車を乗り継いで30分くらい、バスで5分くらいの所で、職場と自宅の規則的往復生活からみると、日本列島の外れまで来たような気分になったり。満員電車で揺られるのも、みんなが毎日、毎夕していること。

新聞で報道されているように、失業者の多いこと、特に熟年、高年齢の方が多いのには、改めてびっくり。自分がその一員なのに。真剣な顔の海に、ぽっかりと浮かぶ自分の姿が見えかくれ。

御存じの方はこの辺は読まないで頂きたいのですが、失業認定というのがあって、4週間に1回ハローワークへ行って失業登録します。私は、収入がない上に、自分の都合で退職したので、失業保険の下りるのは、3カ月かかります。雇用者の側からみた都合が優先されているような気分になり、腹立たしい思いがします。確かに、自分の止むにやまれぬ都合とはいえ、もっと、労働に見合う賃金だったら、労働条件だったら、止める事もなかったのですが、そういう条件は、一切考慮されないのです。収入がないのに、交通費をかけて、4週間に1回、ハローワークへ通わねばなりません。そこで、あれこれ探して、面接に行ったり、アルバイトしたり。アルバイトも月に10日、何日働いたか、賃金は幾らか、報告しなくてはなりません。その賃金分は、その月の保険料から引かれて、保険給付期間の後ろに回されるしくみだそうです。

異論在り。現在、どれだけの生活費(特に住宅費、光熱費、諸税金・保険料)が必要か、そういう客観的な資料に基づいているとは、思えません。このシステムでいくと、どうしても、がんばって現在

の職場にしがみついていなくては、生きていけないという事になります。今頃、気が付いても遅いけれど。どれだけ、現実を繁栄したハローワークなんだろうかと、不思議。

ハローワークには、求職ファイルも、よりどりみどり。年齢別、地域別、職種別。私の条件に合うのは、実に少なすぎる。まず、キャリアなるものがない(秘書もやった事ないし、会計やったら帳簿と現金が合わないし、セーフは買わされて帰ってきそうだし、マネジメントは会社に盾つきそうだし、...コンピュータは使えるソフトが限られている上に、壊しそうだし)。次に年齢制限。それに、正社員募集は、極めて少ないのです。どうも、よくて日給制。定職-安定収入-計画経済を夢見る私の要求にはあいません。なるほど、これが現実か、と納得。そんな呑気な事を言っている身分ではないのですが。

求職中の身分を顧みずに、今年は市民農園でも借りて、少し野菜を作ろうかという計画も立てて、気分転換しています。たかだか10平方メートルの農地ですが、自分が食べる野菜を作るには十分でしょうし、やはり、安心して、おいしく食べたいもの。もっとも、2月下旬にならないと、抽選に合格したかどうか、わかりません。でも、楽しいものです、今年の春は、何を作ろうか?作る楽しさというのは、大切にしたいです。

もう一つの気分転換というか、経済活動の活路を目指して、裁縫分野でどうにかならないかともくろんでいます。Tを育てる中で、大いに楽しみながら、身につけた(と、本人だけが思っている)洋裁の技術。ま、性格を反映して、肝心なところが、プロの水準に達していないという事を何とかすれば、何とかかなるか。

「女三界に家無し」、「女の子らしく」というのにいたく反発して、洋裁、編み物、和裁、掃除、片づけ等一切拒否してきたのを、Tを育て出してから、「ああ、もったいなかった。もっと、母から教えて貰っておけば」と悔やみましたが、時既に遅し。仕方なく、ぶつつけ本番で、ミシを踏むようになって、犯したミスは数知れず。最初は、「やった!やればできる。だが、...どこから、着るのだろうか?」という段階から出発したのみならず、「ミシもいいけど、報告書は?」というお灸も何百回もすえられたのです。でも、これが、実に楽しい。楽しければ、長続きする。人が喜んでくれると、尚楽しい、向上心も刺激されるように、何とかならないかな?

会員の横顔

KI さん

<生い立ち>

昭和10年(1935)7人兄弟姉の長男として栃木県に生まれる。国民小学校1年生の12月大東亜戦争(第二次世界大戦)が始まり、以降敗戦(終戦)までパチンコ屋並みに軍艦マーチが学校であるいは真空管ラジオ(終戦近くは鉱石ラジオ)で鳴り響く。但し8月15日は朝から正午に“天皇のお言葉放送有り”と伝え、クラシック音楽を流していたのが印象的であった。米(こめ)粒の顔も見ず、“芋”と“かぼちゃ”でその日暮らし。新制中学校一期制で思春期を迎えた。

昭和32年、社会人となり私立高校で教壇に立ったもサラリーマンに転身以降、労働運動に身を転じ、総評の中で故向坂先生、灰原書記長を師と仰ぎ、太田・岩井コンビの時、総労働・総資本の対決と言われた。三井三池争議、新日室水俣争議に現地参加し、60年安保闘争では樺美智子さんが倒れた議会(正面側)で宣伝カー上から闘争に参加した事を今でも鮮明に想い出される。

<信条>

人の生存権と人格・人権を常に尊重し、いつも弱者の側に立ち行動を起こすこと。

<まとめ>

社会構造はどこ国でも貧者と富者上流階級と下層階級、弱者と強者で構成されているが、その格差が広がるか縮小するかで政治的側面となる当時の様に闘う労働者(階級)が居ればと思うと残念でたまらない。現代社会の様に情報が“氾濫”している時、これを整理し選択する努力と度量が個人に課せられている。どの様に組織化し、どの様に運動を持続させるか、運動論の初歩に戻って勉強し、実践していこうではないか!!

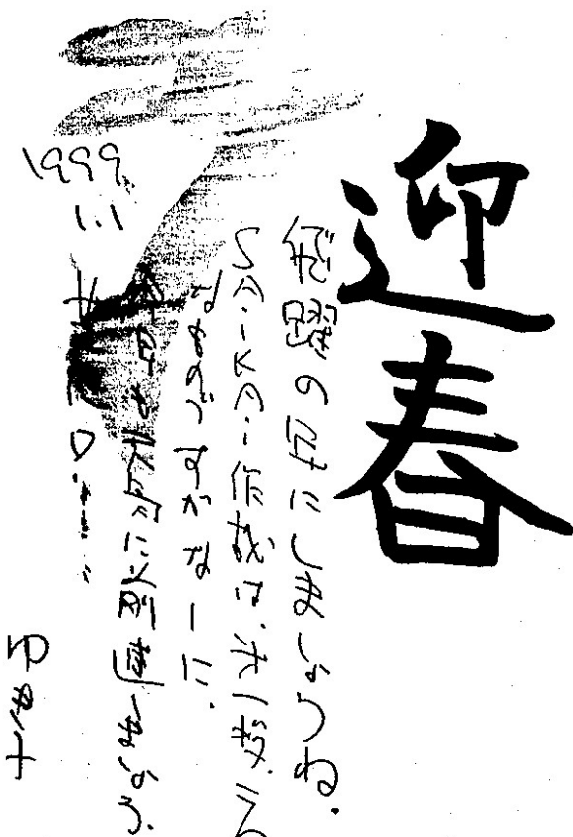
私は赤軍派(JRA)ではなく、純粋な強者(権力)に対する弱者側の抵抗組織として参加しているので念の為。

西川純さん公判報告

1. 24 M島

12月9日と1月19日、地裁426号法廷で弁護側そして検察側の池末証人尋問が行われた。争われているのはダッカ闘争(中味や背景などについては今後、吉村さんより書かれることになると思います)。証人はハイジャック機で犯人Bのすぐ横で通訳を手伝っており、その時の強い印象は彼が「B=西川さん」であると特定する根拠の一つになっている。だが調書によってこの「通訳を行なった」という記載があるものとないものがある。警察官への応答と検察官への応答が食い違っている部分があるのだ。

西川さんは元気だ。西川さん頑張れ!



田中さんからの年賀状

砂漠の狐は誰を騙したか？

1. 17 M島

12月16日からラマダン直前まで行われた米国のイラク空爆は“砂漠の狐”作戦とされた。日本では「狐とタヌキの騙し合い」と言われ、「どっちもどっち」という調子で使われる。フセインはタヌキなのか？

1. 米国のイラク攻撃は国際法違反だ！

対イラク軍事攻撃の根拠を空爆開始直後に即時支持表明した日本政府は「91年の湾岸戦争の停戦決議である国連安保理決議687にイラクが違反した為、停戦以前の状態となり、イラクのクウェート侵略を止めさせ平和回復の措置を決めた同決議687に遡って武力行使が出来る」と説明した。しかしこの決議687には停戦の根拠が失われれば武力行使が出来るとは規定していない。高村外相は「全体的な整合性から武力行使は認められる」とした。この点、ロシアやフランス、中国など他の国連安保理常任理事国は認めていない。国連決議違反を武力攻撃で是正しなければいけないとするなら、10以上の国連決議を無視し続けるイスラエルに関してはなぜ無言を通すのであろうか。これが米国のダブル・スタンダードへのアラブ諸国の共通した抗議です。

2. 米国はUNSCOM(国連大量破壊兵器廃棄特別委員会)をスパイ活動の手段に使っている

イラク政府は今まで何度もこの問題について非難をしてきた。それらは巧みな情報操作と圧倒的な情報量によりのみ消されてきた。米国はスパイをUNSCOMの一員に入れ、①盗聴器を使い約3年間にわたり、イラク軍の暗号化された無線情報を断続的に収集していた。得られた情報に基づき、12月16日のイラク攻撃の標的が選ばれた。②イラク北部のクルド人地域で地雷除去にあたっていた非政府団体が、実は英国の諜報活動をしていた(イラク国連代表の訴え)。

3. 米国のイラクに対する原油輸出量上限撤廃提案の狙い

原油・水を巡る各国の利権争いが中東情勢の背景に必ずある。イラクは石油資源の宝庫であり、埋蔵量が豊富で最も潜在能力が高い国と言われる。今回の軍事攻撃も11月末にOPEC(石油輸出国機構)が減産幅の拡大と期間延長で合意に到らなかったことや、世界規模の不況で原油消費量が減り、原油価格が低迷していたことがある。事実、空爆の直後から原油価格は急騰した。ではなぜ米国はイラクが国連監視下で国民向けの食糧・人道物資購入用に売却出来る石油輸出の上限の撤廃を支持し、対イラク経済制裁の部分解除を提案したのか？米提案前、ロシア・フランスなどが米国のスパイ行為が国際的に明白になり非難が高まるUNSCOMに代わる新たなイラクに対する査察システム・機構の創設を含み、経済制裁の上限撤廃を提案している。未だ正式な国連大使も任命していない米国は、“徐々に目的を査察からフセイン政権打倒へずらして国際協調を創りたい”を本音とし、①国連での孤立を避け、今後も継続的に国連をカバーとして上手く使いたい。②イラク出席のアラブ首脳会議には参加しないと決議したGCC6カ国(湾岸協力会議)などのアラブ諸国と歩調を合せたい。(GCC諸国はフセインとイラク人民を分けて考えることを共通の立場としている)③もしUNSCOMに代わるイラク査察機構を作る以外なくとも、出来る限り米国の思惑とズレない範囲に収め、ヘゲモニーをEU・ロシアなどに奪われたくない。④イラクは軍事攻撃で産油量をすぐには高められない現状にあることと、国際的な原油価格が下落していることで石油市場への影響はない。逆に米国製の掘削部品の半分以上がイラクの石油施設再建に輸出出来る。以上のような狙いを見据えた提案だと言えます。正に本物の狐です。市場が乱高下することで利益を得るヘッジ・ファンドですが、米国も兵器・石油産業が潤い、クリントンも外交得点の可能性があるので、狐とタヌキを自作自演しているのは米国ではないだろうか。

新
時
代
へ
'99



1975 PLQ ポスターより

謹賀新年！ 戦争勝利！

We shall overcome some day (我らいずれ勝つ!).
上告裁判に負ければ、無罪なのに不当な「無期懲役刑」が
確定しますが、慢心不全何のその、生涯闘争で闘い抜きます！
辛苦も亦楽し！

金権腐敗・弱肉強食の世を、人が人として人らしく☆
共に生きられる世に！

「人間の国」を共に創りましょう！

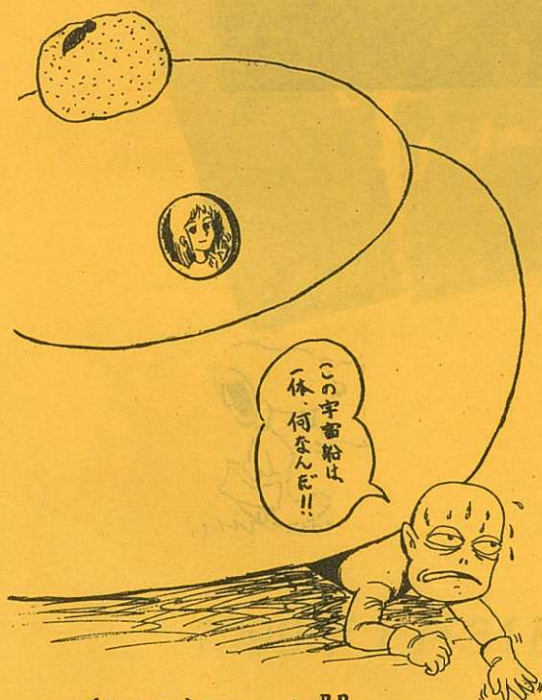


1999 年元旦

今年もよろしゅうに。

丸岡 修 ともに！

124-8565 東京都葛飾区小菅1-35-1A 丸岡 修



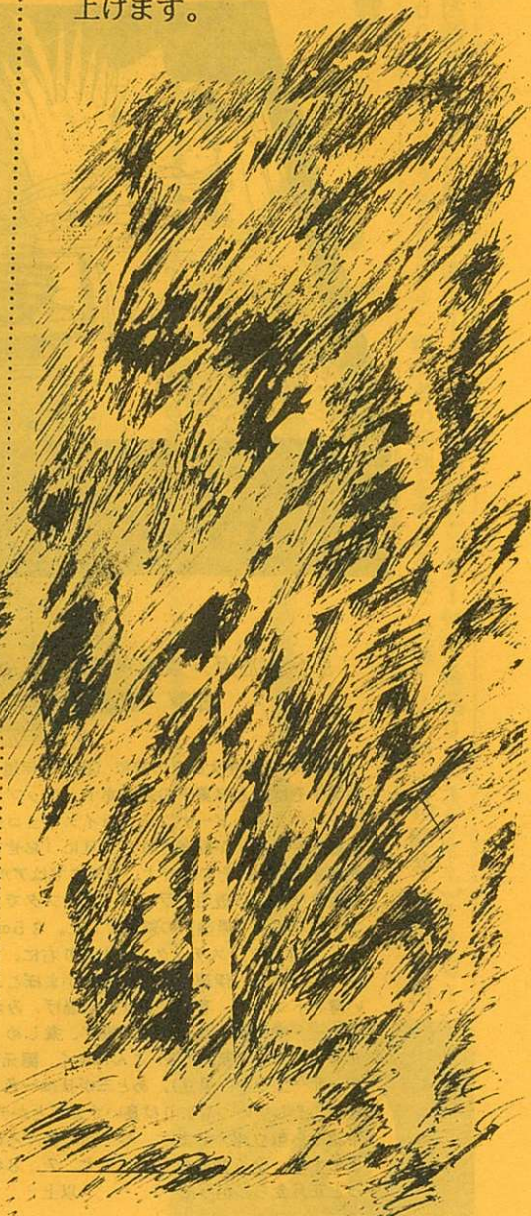
私の初ユメ!!



《編集部から》

6頁「ゆうき凛々」号外は、2／
10出張尋問に関して上手にまとま
った報告がほしかった本誌編集部
と、この件に関して発表の場がほ
しかった「凛々」編集部との思惑
が一致し、本誌で掲載することと
なりました。

本会同様深刻な財政難に陥ってい
るゆきQにも、カンパお願い申し
上げます。



Devil's Triangle

'99初夢K

編集後記

東拘でも、元旦になるとやはり、それらしい物が出るものなのか。しかし家族や仲間達に囲まれて食べることが出来ないのは、かわいそうだ。

レバノン・ルミエの4名に面会に行ったHさん、滞在期間の延期が当局に認められて良かったけど、山本さんには面会が許可されないのは残念です。

初夢のイラストは、ちょっと意味不明な感じですけど、まあそこは「夢」ということで御容赦。

1999 正月版



‘99年正月／東京拘置所の「おせち」

紙製「黒塗」折詰（正月贈）

‘99年正月 丸岡修

東拘では、毎年大晦日の夕に（夜食）年越しそば（市販の割りそば）とお菓子の袋（ポトチップス小袋、パンケーキ小、あんドーナツ小、ライスチョコ片、サラダ油揚げ餅二枚）が配布され、元旦に「おせち」の折詰が配布されます。その給です。去年まではアルマイト（？）の大きな角皿に透明プラスチックのフタでしたが今年はフタも本体も「黒塗」の紙箱でした。25cmX34、5cm。受皿はプラスチック。左上より右に、ローストチキン、ゆでエビ、伊達巻、紅皮白身かまぼこ、卵厚焼、薄い薄いトンカツ、春巻、トリの空揚げ、みかん、ブロッコリー、煮羊羹、ミンチ竜田揚げ、煮しめ（竹の子、サヤエンドウ、人参、大根、こんにゃく、関元豆きんとん、チェリー型菓子、黒豆）。あと三が日は一色が餅、二食が白飯、そしていつもよりは良いオカズとかデザート。（ご希望なら献立紹介します。年一回のまぐろの刺し身もありますが、全く普通のもあります。7、8年前の方がもっと正月食らしかった…）

以上

